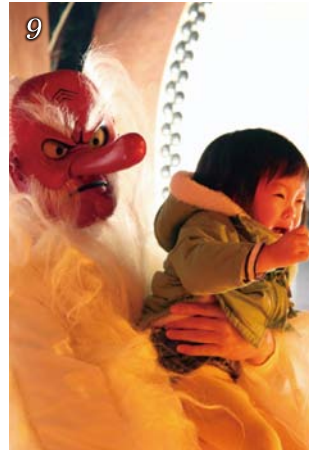


1_天狗に抱きかかえられ泣き叫ぶ子ども 2_間近で見る天狗の顔に思わず固まる 3_あまりの恐怖に保護者にしがみつき助けを求める子ども 4_保護者に向かって「助けて」と手をのぼす子どもの横で、我が子の幸せを願い太鼓を打ち鳴らす保護者 5_逃げたい思いから必死に泣き叫ぶ 6_中には、天狗の腕の中でも平気な顔でじっとしている子どもも 7_対照的な表情の親子。最後に天狗と記念撮影 8_今にも泣き出しそうな表情 9_元気いっぱい泣き声が会場中に



「第27回子泣かし天狗祭」は1月8日、広見体育センターで行われました。鬼ヶ城から山里に下りてきた天狗が、子どもたちの健やかな成長と幸せを祈願するこのお祭り。今年も、子どもたちから平成27年に出生した子ども68人とその家族らが参加しました。

和太鼓の音色とともに、会場に姿を現した2人の天狗。ゆっくりとした足取りで、じつと参加者の顔を見つめながら歩み寄るその異様な姿を見た途端、会場中に子どもたちの泣き叫ぶ声が響き渡りました。

天狗が子どもたちの名前を読み上げると、保護者に連れられ一人一人天狗のもとへ。天狗に抱きかかえられた子どもたちは、恐怖のあまりに泣き叫んだり、驚いたり、中には全く表情を変えず平然としていたり、さまざまな反応を見せます。そのような状況の中、天狗の「大きく育て」「可



愛く育て」などの祈願する声に合わせ、保護者は我が子の健やかな成長を願い、力強く大太鼓を打ち鳴らしていました。

今年も、子どもたちの元気いっばいの泣き声が響き渡った「子泣かし天狗祭」。参加者全員の祈願終了後、太鼓集団「魁」による祝福の演奏で幕を閉じました。その後の記念撮影で再び天狗が登場すると、やはり泣き出す子どもたち。その愛らしい姿に、会場にいた大人たちは目を細めていました。

第27回 子泣かし天狗祭
太鼓を打ち鳴らし
子どもの健やかな成長を願う